

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月29日
【会社名】	エンカレッジ・テクノロジー株式会社
【英訳名】	Encourage Technologies Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石井 進也
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋浜町三丁目3番2号
【電話番号】	03-5623-2622
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 川島 久男
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋浜町三丁目3番2号
【電話番号】	03-5623-2622
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 川島 久男
【届出の対象とした募集（売出）有価証券の種類】	株式
【届出の対象とした募集（売出）金額】	募集金額
	ブックビルディング方式による募集
	434,775,000円
	売出金額
	（引受人の買取引受による売出し）
	ブックビルディング方式による売出し
	520,864,000円
	（オーバーアロットメントによる売出し）
	ブックビルディング方式による売出し
	159,244,000円
	（注） 募集金額は、会社法上の払込金額の総額であり、売出金額は、有価証券届出書の訂正届出書提出時における見込額であります。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

## 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成25年11月8日付をもって提出した有価証券届出書及び平成25年11月22日付で提出した有価証券届出書の訂正届出書の記載事項のうち、「第一部 証券情報 第1 募集要項 5 新規発行による手取金の使途 (2) 手取金の使途」の記載内容の一部を訂正するため、有価証券届出書の訂正届出書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

第一部 証券情報

第1 募集要項

5 新規発行による手取金の使途

(2) 手取金の使途

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_ 罫で示してあります。

## 第一部【証券情報】

### 第1【募集要項】

#### 5【新規発行による手取金の使途】

##### (2)【手取金の使途】

(訂正前)

上記の手取概算額489,904千円については、クラウドを利用した新事業の研究開発費として54,000千円、その内訳といたしましては、平成27年3月期（平成26年4月～平成27年3月）の研究開発に係る外注費、データセンター利用料、諸経費に充当する予定であります。また、設備資金として8,350千円（平成26年3月中の完成を目指し、支払時期としては、平成26年4月を予定）を事務効率化のため販売管理の財務連携システムに充当する予定であります。残額及び「1 新規発行株式」の（注）3．に記載の第三者割当増資の手取概算額上限146,504千円につきましては、当社の課題である優秀な人材獲得のため、及び既存製品の補完のため、既存事業とのシナジー効果の高い企業買収・事業買収の資金に充当する予定です。なお、現在検討しておりますが、内容、金額等について具体化しているものではありません。

上記研究開発、設備投資及び企業買収・事業買収の資金への実際の充当時期までは、安全性の高い金融商品で運用していく方針であります。

(注)設備資金の内容については、「第二部 企業情報 第3 設備の状況 3 設備の新設、除却等の計画」の項をご参照下さい。

(訂正後)

上記の手取概算額489,904千円については、クラウドを利用した新事業の研究開発費として54,000千円、その内訳といたしましては、平成27年3月期（平成26年4月～平成27年3月）の研究開発に係る外注費、データセンター利用料、諸経費に充当する予定であります。また、設備資金として8,350千円（平成26年3月中の完成を目指し、支払時期としては、平成26年4月を予定）を事務効率化のため販売管理の財務連携システムに充当する予定であります。残額及び「1 新規発行株式」の（注）3．に記載の第三者割当増資の手取概算額上限146,504千円につきましては、**投融資資金として**、当社の課題である優秀な人材獲得のため、及び既存製品の補完のため、既存事業とのシナジー効果の高い企業買収・事業買収の資金に充当する予定です。なお、現在検討しておりますが、内容、金額等について具体化しているものではありません。

上記研究開発、設備投資及び企業買収・事業買収の資金への実際の充当時期までは、安全性の高い金融商品で運用していく方針であります。

(注)設備資金の内容については、「第二部 企業情報 第3 設備の状況 3 設備の新設、除却等の計画」の項をご参照下さい。